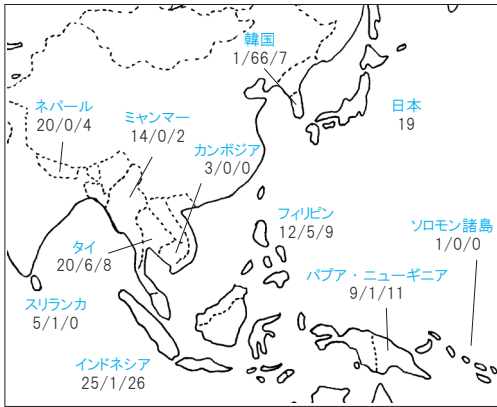


これまでに招いたのは **274 人**

研修生 / 短期研修生 / ゲスト (人)



PHD 協会は、1962 年から約 20 年間ネパールで医療活動に従事した岩村昇医師が自らの経験と反省をふまえ、「物」「金」中心の一次的援助を超えた草の根レベルの人材交流・育成を提唱し、1981 年に設立されました。

### 草の根の人々による村づくりへの協力

アジア・南太平洋の村の青年を研修生として日本に招き、農業、保健衛生、地域組織化などの研修を行い、帰国後もフォローアップを行うことを通じて、草の根の人々による村づくりと生活向上に協力します。

### そこからわたしたちも行動する

日本の人々もアジア・南太平洋の人々との交流を通して学ぶことはたくさんあります。そこから、毎日の生活を問い直し、草の根の人々と共に生きることのできる生活を、足元から実践するための活動を続けています。

## 各地で第 31 期研修生が研修に励んでいます



### ブレム・ドジュ・ラマさん

(ネパール / 38 歳)

研修テーマ 有機農業、保健衛生、協同組合、住民組織化  
言語 タマン語、ネパール語  
宗教 チベット仏教

カトマンズから東へ車で約 3 時間、そこから 1 時間程歩いたところのマンガルタール郡ピンタリ村出身。153 世帯で約 500 人、標高は約 1,400m で、山の上の台地に村があります。

家族は両親、妻、娘 2 人、息子 1 人と一家を支える大黒柱。主に米、とうもろこし、たまねぎ、にんにく、数種類の豆を作っています。家畜は水牛 7 頭 (うち子牛 4 頭)、ヤギ約 10 頭、農耕用牛 2 頭、鶏 12 羽。

地域の活動に熱心で、農業組合、道路整備、自然保護、小規模水力発電などのグループで役やボランティアをしており、既に経験が豊富で地域の人望も厚い方です。

「農業が一番大事」と語るお父さん。村から若者が都市や海外に出て行ってしまふ現状をなんとか変えたいと思っています。

### モーママさん

(ミャンマー / 22 歳)

研修テーマ 保健衛生、有機農業、協同組合、住民組織化  
言語 ミャンマー語  
宗教 上座部仏教 (テーラヴァーダ)

マンダレー管区タダインシェ村出身。第 2 の都市マンダレーから車で約 1 時間、人口は約 2,700 人。同地域からは 2007 年度以来の招聘となります。6 人姉妹の 5 番目。家族全員で農業をしており、米、マンゴー、菊、野菜を育てています。

マンダレー YMCA で 2009 年からボランティアに従事し、マラリア予防や家族計画、人身売買などの啓発活動にも熱心。最近では糖尿病や高血圧も気になっています。

尊敬する人はムームーさん (93 年度) で、ススさん (06 年度)、ティダさん (07 年度) と一緒に「シンプルライフ」というグループで活動するなど、PHD 研修生の次世代を担う存在。期待の若手です。

日本では保健衛生や教育を中心に学び、村のみんなに伝えたいと思っています。

### ダリスマンさん (通称ダリスさん)

(インドネシア / 20 歳)

研修テーマ 有機農業、保健衛生、協同組合、住民組織化  
言語 ミナン語、インドネシア語  
宗教 イスラム教

西スマトラ州ソロ郡タラタジャラン村出身。州都パダンからバスで 3 時間ほど内陸部に入った山村で、標高約 1,100m に位置するため、平均気温が約 20℃と年中過ごしやすい気候です。

旧カコジャングイ村に母、祖父、叔父と 4 人で暮らしています。主に農業をしており、米、さとうきび、とうがらし、シナモン、ナスなどを栽培。牛も 1 頭飼育しています。

ゴトンロヨン (相互扶助) で道を作るなど、地域の活動についても積極的で、同じ村のアフリタさん (04 年度) の強い推薦で選ばれました。

「日本では安心安全な食べ物づくりを中心に勉強したい」と語り、「保健衛生も学んできて欲しい」という地域の期待を背負っています。